

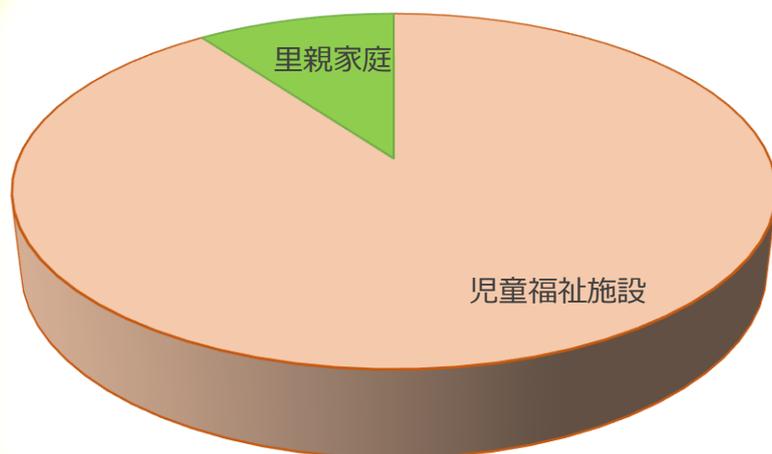
自分のお家で暮らせない子どもたちはどこに？

大阪府には、様々な理由により自分のお家で暮らすことができない子どもたちが約 3,000 人います。このような境遇の子どもたちはどこで暮らし、育てているのでしょうか。

大阪府ではその約 9 割が児童福祉施設（児童養護施設、乳児院など）、残りの約 1 割が里親家庭で暮らしています。

日本では、様々な理由により自分のお家で暮らせない子どもたちを、社会全体が家庭に替わって育てる「社会的養護」という仕組みがあります。

児童福祉施設や里親家庭が子どもたちの暮らしや育ちをサポートすることは、その仕組みに則ったことなのです。



○児童福祉施設とは…？

子どもたちが暮らす児童福祉施設にはたとえば、下記の施設があります。

- ・「児童養護施設」
おおよそ 2~18 歳が対象
- ・「乳児院」
おおよそ 0~2 歳が対象

その他、児童心理治療施設、児童自立支援施設などもあります。



いずれの施設も子どもにとって必要な期間、施設のスタッフが子どもたちの暮らしや育ちをサポートをします。

松柏学園は児童養護施設なので、2～18 歳までの子どもたちが、子どもたちそれぞれにとって必要な期間を暮らしています。

そして、スタッフが 24 時間体制で、子どもたちの暮らしや育ちをサポートしています。

[子どもたちの暮らしについてはこちら](#)

○里親家庭ってなあに？

一方、里親家庭は大きくわけて 2 種類あります。どちらも里親さんご自身のご家庭に子どもを迎え、暮らしや育ちのサポートをしますが、それぞれ役割や目的が異なります。

・「はぐくみホーム」

おおよそ 0～18 歳までを対象とし、子どもが必要とする期間、家庭に迎え入れ、暮らしと育ちのサポートをする。



・「養子縁組里親」

特別養子縁組を前提として子どもを迎える。

いずれの里親さん、里親家庭も自分のお家で暮らせない子どもたちにとっては必要です。

里親制度についてはこちら

[里親制度について](#)

[里親支援機関ホームページ](#)

○はぐくみホームの不足

現在、特に「はぐくみホーム」が不足しています。本来であれば、はぐくみホームで暮らすことが望ましい子どもであっても、空いている適当なはぐくみホームがないということを理由に施設で暮らすことになる場合もあります。

○大阪府の里親家庭募集中！！

松柏学園は大阪府子ども家庭センター（児童相談所）などと連携しながら、里親家庭、特に「はぐくみホーム」を増やすための活動をしています。

主に、豊野地域（箕面、豊中、池田、能勢、豊能）や吹田市などで活動しております。

どこかでお見かけした際には、どうぞよろしくお願ひします。

[児童養護施設 松柏学園](#)

（大阪府指定 里親支援機関）